

Fantic XE300 とファクトリーライダー、クリスティーノが イタリア選手権エンデューロ・ジュニアクラスで注目を集める



ケビン＝クリスティーノは前戦に引き続いてイタリア選手権エンデューロ・ジュニアクラスを支配。チームメイトのマッテオ＝パヴォーニも同じく Fantic XE300 で 300 クラスでの勝利を飾った。125 クラスではピエトロ＝スカルディーナが日曜日に 2 位に入り、アルビン＝ノービンとアレックス＝セムもそのスピードを誇示して見せた。

ミナレリ製燃料噴射エンジンを積むファンティック XE300 の乗るケビン＝クリスティーノがまたもダブル・ウイン。2025 年シーズンのレース 4 戦すべてで勝利した彼は圧倒的なポイント差でチャンピオンシップをリードしている。カマイオーレのレースを通じ、いくつかのテストでは驚異的なタイムさえたたき出したのだ。



XE300 の素晴らしいパフォーマンスにも助けられ、ファンティックがサポートするチーム・スペシアのライダー、マッテオ＝パヴォーニは 2 つの 300 クラスのレースを 1 位と 2 位でまとめ上げ、この週末の総合優勝を得た。

125 クラスでは、ピエトロ＝スカルディーナが日曜日に 2 位に入賞。土曜日に不運にもマシントラブルでリタイアを余儀なくされたポイントを見事に巻き返した。チーム・スペシアのリッカルド＝パスクアットも XE125 を見事に走らせ、土曜日には 2 位、日曜日も 5 位に入って総合 3 位で表彰台に導いた。



外国人クラスでは、アルビン＝ノービンが両日とも7位に入賞。アレックス＝セムも9-8位と上々の出来を見せた。この2人のライダーはファンティック XEF310 を駆り、全体としては好タイムも連発していたが、いくつかのミスに順位を落とす結果となったのである。

全体のスピードだけが必ずしもファンティック・ファクトリーレーシング・チームのライダーたちの結果を示しているとは言えないだろう。今回、前線の怪我でレースを断念したジェド＝エッチェルズもその一人だ。だが5月にトスカニーで開催されるイタリア選手権の次戦、さらにその前、4月から開幕する世界選手権エンデューロのポルトガル戦に向け、着実に準備を進めていく予定だ。

ケビン＝クリスティーノ：我々はチームとして最高の状態でレースに臨み、XE300 はさらに進化を続けていて僕は本当にハッピーなんだ。マシンは特にトラクションがカギを握るようなセクションで見事な走りを魅せ、もちろん驚くほどのパワーも発揮してくれている。今回の2連勝は、これまでの僕らの仕事が間違っていなかったことを証明しているかのようだね。



ピエトロ＝スカルディーナ：今回のレースは思い通りだったとは言えないね。土曜日は特に、残念なリタイヤとなってしまった。日曜日は125クラスでの確実なポイントを狙って走らせることができて、いくつかのミスはあったものの2位に入ることができた。まあでも、これがレースというものだ。今は4月にポルトガルで開催する世界選手権での戦いに全力を振り向けていく予定なんだ。



アルビン=ノービン：マシンの仕上げには全力を投じていて、この週末を通じてさらに戦闘力が上がってきているのを実感しているよ。スピードはとりわけ素晴らしく、日曜日にはそれを実感できるレベルに仕上がっていたと思う。いくつかのスペシャル・テストでは極めていいタイムを記録することができたからね。もちろんまだまだやらなければならないことはあるけれど、さらに良くしていける自信はあるし、ポルトガルでのエンデューロ GP の開幕に向けて準備を進めていくよ。



TECHNICAL PARTNERS TEAMS

